

# 英語の家庭学習のススメ Part.2

## 「聞くこと」を取り入れた家庭学習の取組

現在、臨時休業中の学校では、家庭学習により、学びを止めない工夫をされていることと思いますが、「家庭学習は単語練習や予習ノートづくりなどの書くこと中心の課題が多くなってしまふ。」という声を聞きました。英語4技能のうち、家庭学習で「話すこと」に取り組ませるのは難しいですが、「読むこと」「書くこと」「聞くこと」の学習は、一工夫することで効果を上げることができます。本号では、テレビの英語番組を活用し、「聞くこと」、「書くこと」の家庭学習に取り組ませ、授業再開後の「話すこと」の学習にもつなげていく一例を紹介します。

### ◆テレビ番組等を活用した家庭学習のねらい

1. 「聞くこと」の学習機会を確保する。
2. 番組の会話(やり取り)を参考にスキットを考えさせ、「書くこと」の活動へつなげる。
3. 授業再開後の言語活動またはパフォーマンステストなどで「話すこと」にもつなげる。

【取組例】(別紙「家庭学習レポート」参照)

ゴールを示しておく  
ことが大切！！

### STEP1

- ・テレビ番組等を視聴し、会話の概要を捉える。
- ・既習表現や新出表現に気付く。



岡山県マスコット  
「ももっち」

- ①映像や場面設定をヒントに会話の概要を捉える。
- ②会話で使用される表現の中から、既習表現や自分にとって新しい表現を書き留める。

NHKの英語学習番組は、自然な会話の中で新しい表現を学べる構成になっています。教科書の内容や扱う順番が一致していなくても、多くの表現に触れたり、学校で学んだ表現が実際のコミュニケーションで使われる様子を確認したりする機会となります。

### STEP2

オリジナルスキットを考える。(別紙「家庭学習レポート(生徒記入例)」参照)

- ①番組内の会話の流れ等を参考に、場面や状況を考え、対話文(スキット)を作る。
- ②番組内で使われた表現を中心にし、既習表現を自由に使う。

番組の会話を参考に、「目的や場面、状況に応じた英語使用」を意識させたいですね。また、**学年に応じた工夫**や**生徒の実態に応じたヒント**を準備することも効果的です。

登校日等に提出させ、生徒のスキットを添削しましょう。

視点①「目的や場面、状況に応じた英語使用」になっているか。

②単語・熟語や文法を正しく使えているか。

③番組の中心表現が書かれているか。単語レベルでも書こうとしているか。

※英作文を書くことが難しい生徒に対して、ヒントを書いているワークシートや、表現をまとめたプリントを用意することもよい。

### STEP3

スキットを発表する。

○添削を受けて、書き直しをしたスキットを友達やALTとのペアで発表する。

書き直し等の発表準備は継続的に「家庭学習」で、発表は「授業」で行うようにして、授業時間の調整が必要な中でも言語活動を実施したいですね。



授業で発表することを目標にすると、家庭学習への取組の意欲向上につながると考えられます。



岡山県マスコット  
「うらっち」

家庭学習に「聞くこと」を取り入れ、家庭学習と授業の言語活動をつないでいく取組は、臨時休業中だけでなく、今後も大切にしたい視点です。また、これをきっかけに、テレビやインターネットを活用して、英語の学びを自ら広げ、深める生徒が増えるよう、取組の工夫をお願いします。